

令和3年度 学校評価書

1. 学校の教育目標

教育目標

- ・心も体も健全な子
- ・素直でやさしく、思いやりの気持ちを持った子
- ・どんなことでも自分で考え、意欲的に取り組み、工夫して最後までやりとげる子

2. 指導のねらい

子ども達に様々な経験や体験ができる計画と実施

3. 本年度に定めた重点的に取り組む目標や計画

- ① ・生活の中で、お互いに育ちあい、遊ぶ力、人のかかわる事の楽しさを育てる
- ② ・保育の質の向上と保育者のスキルアップ「子どもの育ちを捉えるための記録とそれを生かした保育実践」・2年継続
- ③ ・地域の行事や施設等を訪問し地域の人々と関わる
 - ・保護者や地域の子育て支援拠点

4. 自己評価項目の達成及び取組状況

具体項目	評価点	理由及び改善策
教育保育計画	A	・各年齢の教育・保育計画や個別指導においては、子どもの育ちに着目し計画・実践ができていた。
		・園全体として、共通課題に向けての取り組み方法の改善(研修体制)をしながら、活動内容の充実を図っていきたい。
		・乳児保育の構築から、幼保連携体制の構築について深めていきたい。
研究計画	A	・記録を通して子どもの育ちを読み取ったり、保育者間で検討できる機会としては良かった。
		・今後は保育の中でどのような実践を展開していくかなど具体化し、それに基づいた検討をすることで保育の質の向上につなげたい。
地域連携計画	B	・コロナ禍で非日常だった事が日常の日々になっていく中、地域との連携や関わりが遠くなってしまっている。
		・地域の交流はなかなか持てなかったが、前年度の反省を踏まえて園外に出ることだけでも増えたことは、自然と触れ合う機会や生活の中でのルールに気付ける機会につながった。
		・今後も行事だけでなく地域とのつながりを、少しでも持てるよう考えていきたい。

◎「4. 5. 」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取り組みが不十分である

5. 学校関係者評価委員の評価結果

具体項目	評価点	学校関係者評価委員会の意見
教育保育計画	A	<p>・少子化が進んでいく中、地域に必要とされる園として園の特徴を出していくことも大事である。</p> <p>“子ども達がのびのびと子どもらしい”この良さを今後も大切にしながら、ここでの生活がより充実し一人ひとりの成長につながっていけるような取り組みをこれからも続けて欲しい。</p>
研究計画	A	<p>・共通課題にむけて全教職員で取り組む研修体制を築いていくことが重要である。</p> <p>・コロナ禍の中、研修会への参加のむずかしさ等もあると思うが保育の質の向上に向けて今後も積極的に参加するとともに、常に問題意識をもって取り組む姿勢を大事にして欲しい。</p>
地域連携計画	B	<p>・地域行事への参加だけでなく地域の中で必要とされる園として何ができるかを考えていくことも必要である。</p> <p>・創立100周年のコミュニティ広場の活用を含め、地域に根ざした園のあり方を考えていくことが園児獲得にも繋がっていくのでは・・・</p>